



# 3年学年だより

発行日:令和6年2月29日(木)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:遠藤 広樹 NO.10

## 令和5年度の有終の美を求めて

今月は南高校附属中学校13期生適性検査、南高校71期生高校入試が実施されました。南高校および附属中学校にも新しい春の足音が聞こえてきます。令和5年度の附属中学校の生活も残りひと月となりました。今年度の総仕上げをしている各学年の様子をお伝えします。

保護者の皆さま、1年間さまざまな場面でお力添えいただきありがとうございました。令和5年度も残りひと月、よろしくお願ひいたします。

### 自分の心の声に耳を澄まそう

3年学年主任 朝比奈 康江

♪ 何のために生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのはいやだ

何が君のしあわせ 何をして喜ぶ わからないままおわる そんなのはいやだ ♪

みなさんも一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。やなせたかしさん作詞の「アンパンマンのマーチ」の一節です。大げさかも知れませんが、生きる目的がはっきりしていれば、たとえ八方ふさがりに思える状況の中でも、「はい」と「いいえ」を言い違えることはありません。

卒業生たちから、中学生や高校生のとときの興味が将来の仕事の選択につながっているという話をよく聞きます。今はまだ将来のことはわからないという人も、何がしたいのか意識して、自分の気持ちに注意深く向き合い、心の声に耳を澄ますことで、気づくことがきっとあると思います。

### 自立した人に。

2年学年主任 三井 俊文

「自立」。みなさんが考えるこの「自立」という言葉は、どのような意味の言葉でしょうか。辞書で引くと、「他の力をかりることなく、また他に従属することなしに存続すること。」と書いてありました。私もそう思っていましたし、みなさんも大体似たような意味で捉えているかなと思います。以前、ある記事でこんな発言を読みました。「自立とは、依存先を増やしていくことです。」頼れるものを減らして自分の力だけ立っていくことが「自立」と思われがちだが、むしろ反対に頼れるもの(場所、人など)を増やしていくことが「自立」ということです。私自身、この言葉にとっても感銘を受けましたし、その通りだなと思いました。頼ることなく、支えてもらうことなく生きるのではなく、頼ったり支えてもらったりして生きることこそが「自立」なのです。そしてそれは支えてもらう側だけでなく、支える側になることも意味するものだと思います。2年間に共に過ごしてきて、11期のみなさんは周りを支えられる人たちがすごく多いと感じます。これからもお互いに依存し合える関係をたくさん増やしていき、「自立」に向かっていってほしいなと思います。

### 人生は選択の連続

1年学年主任 酒井 貴史

人生は選択の連続…こんな言葉を聞いたことがあるでしょうか。「よし、決めるぞ」と思って選択することもあれば、気にも留めずに選択することもあります。何の選択をしたか、忘れてしまうような選択もあることでしょうか。ところで、みなさんは1年前の今頃、どんな選択をしたでしょうか。…この学校へ入学することを「選択」したはずで。

そんなみなさんの中学生としての3年間のうち、1年が過ぎそうとしています。「〇〇するんだよ」と言われて選択してきたことから、少しずつ自分で「〇〇するぞ」と思って選択することも増えてきたのではないのでしょうか。選択一つが未来を変える、という大げさかも知れませんが、その場その時に考えられる最善の選択を「自分で」できる人になっていって欲しいです。きっと、そんな選択がみなさんを成長させ、お互いに良い影響を与え合ってくれる集団になってくれることでしょう。期待しています。

## 3年間で振り返って～みなさんへ贈る言葉～

10期生のみなさん、いよいよ卒業ですね。

いろいろなことがありましたが、植物が光に向かって伸びていくように、何があっても「今」できることに精一杯取り組み、その時間を元気いっぱい楽しんでいたみなさんから、たくさんのパワーをもらいました。これから先もしなやかに、そしてしたたかに伸びていってください。

そして、保護者のみなさまのご理解とご支援にも、心よりの感謝を申し上げます。

---

みなさんが生まれる以前になりますが、夏の甲子園に出場したある高校の話です。アルプススタンドでは、「必支」という文字を縫い付けた手作りのお守りを握りしめながら、声を限りに応援する大勢の生徒たちがいました。「必死」ではなく「必支」です。これには「どんなときも私たちはあなたを支えるから。」「ピンチのときもチャンスのときも、支えるから。」という思いが込められていました。

10期生と過ごしていて、ふと、このシーンを思い出しました。「あなたが一生懸命やっているのはわかっているから大丈夫だよ。」そんな、メッセージが互いの心に届いているから、失敗をおそれず、自分を表現できるのでしょ。

間もなく次のステージですね。私たちもずっとみなさんを「必支」に応援しています。

学年主任・1組副担任：朝比奈康江

---

卒業まで1か月を切った今、手帳を1ページずつめくる度に、君たちと過ごせる日が少なくなってきていることを実感しています。「辛いな、寂しいな」というのが、私の素直な気持ちです。

一緒に歌った「移項の歌」、君たちに聞いてもらった子どもの話、みんなで思い切り楽しんだ関西研修旅行、一緒になって面白おかしく過ごした日々、毎日届け続けた学級通信など、忘れることのできない時間が沢山できました。ありがとう。

この先、きっと幸せな時間が待っているはず。大人になったら、一緒にお酒を飲みましょう。教師になって、一緒に働きましょう。山口会を開いて、一緒に幸せな時間を過ごしましょう。

“There is always light behind the clouds”

1組担任：山口 智司

---

令和5年3月7日に何があったか覚えていますか？この日は、「H3 ロケット」の打ち上げ日でした。授業の合間に打ち上げと発表されて、ライブ中継を行いましたね。順調かと思いきや第2弾エンジンへの点火ができず、打ち上げは失敗。そして、今月17日午前9時22分に「H3 ロケット」が宇宙へ飛び立ちました。担当者の方が「ロケットの開発に失敗はできない。ただ、失敗をするとエンジニアはさらに強くなる」とありました。3月7日の失敗について、度重なる検証を行ったと記事に書いてありました。失敗から学ぶこと、学ぶことにより人は強くなる。私は、「H3ロケット」の打ち上げから再び教えてもらいました。今度は「だいち3号」とともに！

2組担任：高仁 環



私は高校生のときに、人生の分岐点になるような出来事が多くあったような気がします。希望の高校へ進学したものの勉強が難しくなって理解できず苦しかったこと、

それもあって部活をやめてしまったこと、高校の先生と出会い教師を目指したこと、後悔しないように意思を大事にしようと思ったこと、(モヒカン頭にしちゃったこと)。どれも自分にとっては大切な経験でした。現在も、自分の弱さと戦いながら日々もがいております。

豊かな経験をして、これから自分の生き方を見つけてほしいと思います。そのときにまた会って色々話したら私は嬉しいです。卒業まであと少し、よろしくね。

3組担任:古谷 知農

---

高校生になるみなさん。「旅」に出てみませんか?見たことのない景色、普段食べない食事、初めての場所のにおい、その土地で出会う人や文化。普段出会えない何かと出会えるのが旅です。わくわくしませんか?10期生とは2度、研修旅行に行きました。旅での出会いや発見が次の旅につながって、それが自分になっていきます。

私は10期生との出会いもご縁だと思っています。みんなの旅が明るく、素敵なものになりますように。Have a great journey!

4組担任:吉田みどり

---

ほんの2か月位の間でしたが、皆が色々な課題に、一生懸命取り組んでいる姿を目にして、とても感動していました。何だかんだ不平や不満もあったのだろうけれど、きちんと取り組んでいた結果を示していると思います。一生懸命取り組んでいる姿は、とても美しいです。自分自身のことを真剣に表現している『心の表れ』だからだ、と思うのです。あなたの『心』は、誰かの『心』に響きます。そしてそれが、自分自身の大きな成長にも繋がっていくと思います。高校生になっても、ずっと先になっても、この中学時代に培ったその『心』を大切にしてください。

3組副担任:小野寺 結

---

中学生は「じこちゅう」である。私自身もそうでしたが、中学生の頃は「自己中心的」に物事をとらえる傾向が強いのです。だから、自分がやりたくないことは「かったるい」だったり、自分を束縛するのは「うざい」だったりします。でも、想像してみてください。「かったるい」はずのテスト勉強や部活動のきつい練習をやってこなかった自分。「うざい」はずの親、教師、仲間の指導や忠告を全く聞いてこなかった自分がいたとしたら… あらゆることを通して確実にあなたたちは成長しているのです。だから、親や教師は「うざい」存在でもいられるのです。いつか、あなたも「うざい」大人になってください。

2組・4組副担任:小野寺 啓司